



東北大学

総長 里見 進 様

H26 教学セ第 1464 号

平成 26 年 12 月 1 日

仙台市教育センター

所長 今野 和賀子

平成 26 年度 第 40 回仙台市教育課題研究発表会の開催について (案内)

このことについて、下記のとおり開催いたしますので、御案内申し上げます。

記

1 日 時 平成 26 年 12 月 25 日 (木) 10:00～15:40

2 場 所 第 1 会場：仙台市教育センター (主に教職員、保護者等の発表)

第 2 会場：仙台市立東二番丁小学校 (児童生徒の発表)

3 日 程

(1) 受付 9:30～ 9:50

(2) 準備・移動 9:50～ 9:55

(3) 発表 10:00～

■仙台市教育センター【分科会 1～10】 ■東二番丁小学校【分科会 11～12】

(4) 閉会・解散

■仙台市教育センター【分科会 1～10】 ■東二番丁小学校【分科会 11～12】

15:40 分科会ごと

12:30 分科会ごと

4 発表件数

校種 等	幼稚園	小学校	中学校	高等 学校	特別支援 学校	教育局 各課等	教務主任 教頭会	保護者 等	児童 生徒	合 計
件数	0	47	15	1	5	6	3	3	13	93

5 発表日程と発表内容 (別紙)

※ 当センターの Web ページ (<http://www.sendai-c.ed.jp/>) から御覧いただけます。

トップページ→研究 ・教育課題研究発表会

6 その他

駐車場をご利用の際は、同封いたしました「駐車許可証」をお使いください。

担当：仙台市教育センター 企画情報班 指導主事 小野寺 淳

TEL：251-7442 FAX：251-7486

E-mail：j-onodera@sendai-c.ed.jp

平成26年度 第40回仙台市教育課題研究発表会 プログラム

平成26年12月25日(木)

《第1会場：仙台市教育センター 第1～10分科会》

《日程》

	時 程	第1～10分科会
	9:30～9:50	受 付
	9:50～9:55	準備・移動(5分)
発表 Ⅰ	10:00～10:40	①・②
	10:40～10:55	質疑・応答
	10:55～11:10	休憩・移動(15分)
発表 Ⅱ	11:10～11:50	①・②
	11:50～12:05	質疑・応答
	12:05～13:30	昼食・休憩(85分)
発表 Ⅲ	13:30～14:10	①・②
	14:10～14:25	質疑・応答
	14:25～14:40	休憩・移動(15分)
発表 Ⅳ	14:40～15:20	①・②
	15:20～15:35	質疑・応答
	15:40	分科会ごとに閉会・解散

《第2会場：東二番丁小学校 第11～12分科会》

《日程》

	時 程	第11分科会
	9:30～9:50	受 付
	9:50～9:55	準備・移動(5分)
発表 Ⅰ	10:00～10:45	①・②・③
	10:45～11:00	質疑・応答
	11:00～11:10	休憩・移動(10分)
発表 Ⅱ	11:10～12:10	①・②・③・④
	12:10～12:30	質疑・応答

	時 程	第12分科会
	9:30～9:50	受 付
	9:50～9:55	準備・移動(5分)
発表 Ⅰ	10:00～10:45	①・②・③
	10:45～11:00	質疑・応答
	11:00～11:10	休憩・移動(10分)
発表 Ⅱ	11:10～11:55	①・②・③
	11:55～12:10	質疑・応答

第1分科会 (第2研修室)

国語科

発表順	研究主題 及び サブテーマ	所属 及び 発表者
I	① 考えを深めたり広げたりしながら「読む力」を身に付ける児童を育てる一試み ～シンキングツールの導入と学習形態の工夫を通して～	愛子小 野中映里
	② 自ら「伝統的な言語文化」に親しもうとする生徒の育成 ～中学校3年生古典における複数教材を関連付けた単元構成の工夫を通して～	生出中 浅野佑一
II	① 生き生きと自分の思いや考えを表現する子どもの育成	鶴谷東小 鈴木一生
	② 文体論的特徴を生かした読み書き関連指導の在り方 ～中学2年国語科における視点を変えてリライトする活動を通して～	中野中 秋山 梓
III	① 主体的に読書をし、相手や目的を意識しながら工夫して本の魅力を発信しようとする生徒の育成 ～ビブリオバトルの手法を取り入れた国語科の授業づくり～	長命ヶ丘中 後藤 俊
	② 古典作品に見られる考え方や表現を自らの表現活動に役立てようとする生徒の育成 ～オリジナルの『奥のほそ道』を書く活動を通して～	向陽台中 遠藤 鍊
IV	① 効果的な読み方で、考えを広げたり深めたりする児童の育成 ～単元を貫く活動「私が薦める一冊ビブリオバトルをしよう」を通して～	追究 この葉 上杉山通小 佐藤明子
	② 全員が思考し活動するための指示の在り方の一考察 ～中学校国語科の「読むこと」領域の指導を通して～	袋原中 後藤俊亮

第2分科会 (第3研修室)

保健体育科/体力向上/体力づくり 健康教育

発表順	研究主題 及び サブテーマ	所属 及び 発表者
I	① 健康で丈夫な児童の育成を目指した食育の取組 ～よりよい食育の充実を求めた授業実践と給食指導～	富沢小 山内理恵 今井智帆
	② 心の健康の保持増進を目指した学校・家庭・地域との連携を求めて ～豊かな環境で豊かな心を育む～	富沢小 黒田麻衣子 加賀玉枝
II	① 児童の体力向上をめざして ～時間効率, 空間効率を高めた運動 part 2～	上杉山通小体育部 竹川 央 佐久間勇輔 佐藤周子
	② 運動する楽しさや喜びを味わい進んで運動する児童の育成 ～体育科の学習活動と体育的活動の工夫を通して～	富沢小 笹原 惇 齋藤正知
III	① 続けて長く泳ぐことを目指した水泳指導の実践 ～一斉指導と習熟度別指導を組み合わせた単元指導～	富沢小 高橋正穂
	② コミュニケーション能力と思考力を育む体育授業の展開 ～グループお話マツの実践を通して～	住吉台小 富樫僚一
IV	① 低・中・高学年のつながりがある体育学習の在り方 ～児童の発達段階に応じた学習過程の工夫～	体育を学ぶ会 花海聡人 青沼 佳 佐々木貴幸
	② 運動の楽しさを追求する子ども ～ゲーム・ボール運動領域の実践から～	体育の授業を考える会 高橋正行 内海 智 森田真平

第3分科会 (第4研修室)

授業づくり/学校行事

総合的な学習の時間/道徳教育

発表順	研究主題 及び サブテーマ	所属 及び 発表者
I	① 基礎基本を習得し、日常に生かす書写学習 ～だれもができる書写指導を通して～ 仙台市小学校教育研究会書写グループ 近田奈津子 大友いほ子 猪股知佳	
	② 一人一人の子供が主体的に関わろうとする学級を目指して ～ホワイトボードなどを活用した実践を通して～ 荒巻小ホワイトボード・ミーティンググループ 糟谷樹理 千葉啓志 佐々千春 八島雅人	
II	① 児童一人一人の学びを大切にしたい指導の在り方 ～ユニバーサルデザインの授業づくりを通して～	大和小 佐々木 匠
	② 松陵中の地域と共に歩む学校づくりの取組 ～「みんなの学校の日」の設定を通して～	松陵中 小野 仁
III	① 主体的に学び、互いに高め合う子供の育成 ～地域を題材とした総合的な学習の時間における、協同的な探求活動を通して～ 桂小 中川久美子	
	② 人とのつながりを通して、自分を高め、社会をよりよくしていく力の育成を目指して 八乙女小6学年 黒坂光幸 安倍純子 岩渕博行 佐藤央子	
IV	① 笑顔・優しさがあふれる学級づくり ～自己肯定感を育てる活動を通して～	川平小 伊藤万葉
	② 希望を持って生きようとする心を育てるための道徳の時間の一試み ～協力的な指導の工夫を通して～	東華中 黒木美枝

第4分科会 (第7研修室)

学校支援地域本部/地域連携

発表順	研究主題 及び サブテーマ	所属 及び 発表者
I	① 笑顔になれる場所を目指して ～放課後子ども教室「スマイルクラブなかだ」の取組～ 中田小 放課後子ども教室「スマイルクラブなかだ」 菅原 猛 横田倫子 白石晶子 後藤てるみ	
	② 子ども参画型社会創造支援事業の現状と展望 ～若林区中央市民センターでのチャイルドボランティア活動の調査より～ 東北大学社会教育主事講習グループ 中嶋卓朗 佐々木信太郎 村上博基 高橋和也 柴田 亮	
II	① 「つなげよう 広げよう 地域の輪」 ～地域連携で活かそう学びの力～ 七北田小社会学級 三浦充帆 市名坂小社会学級 三澤かおる	
	② 地域に愛着を持ち、共に学び合う子どもの育成 ～閉校に向けて～ 貝森小 成田栄子 佐藤昌好 小原 瞳 沖田智美	
III	① 地域・家庭・学校と共に歩んできた学校支援地域本部リンク!とみざわ ～100人の学習サポーターの力を引き出したスーパーバイザーの知恵と熱意～ 富沢小 学校支援地域本部リンク!とみざわ 小池由美 玉木百合 中村洋枝 霜山玲子 鈴木茂男	
	② 生き生き中山っ子教室 10年を振り返って 中山小 鈴木章代 伊藤隆友	
IV	① 子ども・保護者・地域をつなぐPTA活動 ～金剛沢エコマネー活動を通して～ 金剛沢小 松野清志 恵津順美 大槻正美 工藤希実 伊藤由佳 岩野和子 佐々木聡子 菊地満知子 小池真理子	
	② 小1生活・学習サポーター事後アンケートから検証! 「地域ボランティア×先生」の答えを必ず+ (プラス) に導く極意 愛子小 学校支援地域本部 安藤直美 渡部恵子	

第5分科会 (第8研修室)

たくましく生きる力育成プログラム 防災教育/いじめ防止

発表順	研究主題 及び サブテーマ	所属 及び 発表者
I	① 進んで自分を表現できる学級を目指して ～「たくましく生きる力育成プログラム」を活用した1学年の実践～ 連坊小路小1学年 嶺岸香織 針生由美 庄司千穂 林 道博 山本香澄	
	② 仙台市生涯学習支援センターの役割 ～学びを通じた地域づくり・学びを支える人づくり～ 生涯学習支援センター 及川卓也	
II	① 松陵中のいじめ防止対策の取組 ～学校いじめ防止基本方針の策定を通して～	松陵中 西城順子
	② 教師の海外経験を生かした自分づくり教育の実践 ～スマトラ沖地震を経験したインドネシアの人々との交流を通して～	八幡小 大槻孝宏
III	① 震災を乗り越え、未来に向けてたくましく生きる児童の育成 ～故郷・中野のすばらしさを再発見する活動を通して～	中野小 大宮知佳 日下宗大
	② 松陵中の学校防災教育の取組 ～「学校防災の日」の設定を通して～	松陵中 佐藤直樹
IV	① 防災における社会学級生の役割	大倉小社会学級 菅原真由美
	② 自助・共助の力を育成する防災教育の在り方 ～新たな学校防災教育モデル校 3年間の取組について～ 北六番丁小 千葉久美子 豊島貴之	

第6分科会 (大研修室・前)

特別支援教育

発表順	研究主題 及び サブテーマ	所属 及び 発表者
I	① 自立に向けた学びを高める身体づくりを目指して ～本校の3年間の取組から～	鶴谷特別支援学校 西村茂貴
	② 自立に向けた学びを高める身体づくりを目指して ～児童Aが半ズボン一人で履けるようになるための一試み～ 鶴谷特別支援学校 鈴木克佳 吉田忠義	
II	① 自立に向けた学びを高める身体づくりを目指して ～Aが教師の働き掛けを受けながら、リラックスして学校生活を送るための指導の一試み～ 鶴谷特別支援学校 大友潮香	
	② 「見る力」が弱い児童への支援の在り方 ～特別支援学級と通常学級でのそれぞれの取組を通して～ 館小 高野未央 赤間ゆり子	
III	① 自立に向けた学びを高める身体づくりを目指して ～ボタンのかけ外しをスムーズに行えるようにするための指導の工夫～ 鶴谷特別支援学校 伊藤貴人	
	② ダウン症児に対する文字の読み能力を向上させる試み ～指導段階表の作成と活用を通して～ 中野栄小 新谷千尋	
IV	① 自ら課題に気付き、解決しようとする児童の育成 ～生活科・総合的な学習の時間における学習活動の工夫～ 中田小 笠井 武 雫石悦子 小竹智史	
	② 進路先と共に生徒の育成を図るための実践的研究 ～支援資料の活用を通して～ 鶴谷特別支援学校 菅原知博	

第7分科会 (大研修室・後)		特別支援教育/学級づくり
発表順	研究主題 及び サブテーマ	所属 及び 発表者
I	① 小学校高学年教科担任制の在り方の研究 ～中学校を見据えた指導体制の工夫～	西山小 大友渉
	② 国立教育政策研究所教育課程センター関係指定事業「研究課題3(1) 伝統文化教育」の教育課程研究 伝統文化への関わりを意識させる学習指導の工夫 幸町小 今野友明 西塚亜貴子 横澤智之 富塚一秀 真竹健人	
II	① 場に応じたコミュニケーションをとることができるようになるための指導の一試み ～ワークシートの活用とインタビュー活動の実践を通して～	吉成小 舘野美穂
	② 児童思春期病棟の入院治療における院内学級の役割 ～「学校との再会の場」としての支援の在り方を探る～ 吉成中(院内学級)	目黒由美 菅原利真
III	① 通常学級における発達に課題を抱えた児童への支援とその対応 ～家庭との連携・校内支援体制を通して～	川平小 檜野達朗 千葉美保
	② 発達障害スペクトラム児の多いクラスでの学級経営の一試み ～親と共に支える「頑張り表」での支援～	八本松小 高橋佳子
IV	① お互いを認め合い、支え合う学級づくりの在り方 ～小学校低学年における道徳・学級活動の実践から～	榴岡小 伊藤有宏
	② 学習意欲と関わる力を高める指導 ～学習環境の調整と教師の声掛けの工夫～	太白小 諏訪妙子

第8分科会 (第9研修室)		教務主任/教頭会/学級づくり
発表順	研究主題 及び サブテーマ	所属 及び 発表者
I	① 仙台市教務主任会の活動一考察 ～第6地区の教務主任会の研究より～	仙台市教務主任会 八巻寛治
	② 教職員の専門性を高める各校におけるOJTの在り方について ～教員の現職教育に関わる現状把握を通して～ 仙台市小学校教頭会第7地区会	村田隆則 猪股由美子 佐々木賢哉
II	① 小学校低学年の係活動における児童相互の関係性に関する事例的研究	富沢小 高橋克博
	② 互いを認め合い考える力を深める学級づくり ～対話により、聞く力・考える力の向上を目指す一試み～	加茂小 大槻千秋
III	① 「p4cの手法を取り入れた重点目標実現の取組」 ～ハワイ・ワイキキ小学校などの視察の報告と本校のp4cの実践～	茂庭台小 小野寺美智子 番場理恵
	② 「対話による、考える力の向上を目指す試み」 ～p4cによる手法を入れた重点目標実現の取組～	茂庭台小 小野寺美智子 伊藤咲子 黒須あゆみ
IV	① 国語科・道徳におけるp4c(探究の対話)の活用	八本松小 砂金みどり
	② 中学生とp4c	八木山中 須藤浩司

第9分科会
(第10研修室)

**社会科/外国語活動・外国語科/情報教育
幼・小・中連携/教頭会**

発表順	研究主題 及び サブテーマ	所属 及び 発表者
I	① 小学校社会科における歴史への関心を高める学習指導の試み ～地域教材を生かした各学年の指導計画の作成と学習指導の工夫を通して～	広瀬小 村上 聡
	② ホンモノに見る・触れる・感じる ～文化財資料を使った授業実践とその考察～	仙台市教育委員会文化財課 千葉 悟 早坂純一 千葉靖彦
II	① 外国語活動を楽しむ ～特別支援学級での取組を通して～	八乙女小 齋藤裕美
	② コミュニケーション力を育むための外国語活動の在り方を探る	向山小 遠藤恵利子 大野文子 藤原聡一 小野洋平 阿部尚子
III	① 自らの英語を学ぶ力と意欲を育む指導の一試み ～「CAN-DOピラミッド」の活用を通して～	台原中 鈴木友吉子
	② 子どもと保護者をつなぐ情報モラル ～家族で考える賢いインターネット利用を目指して～	川平小 中村直樹
IV	① 松陵中の学力向上対策 ～小規模校の特性と小中連携を生かした取組～	松陵中 中村友紀
	② 地域で活躍する生徒の育成 ～地域や小学校との連携を通して～	南中山中 菅井研二

第10分科会
(第11研修室)

算数科/理科/OJT, 協働型学校評価

発表順	研究主題 及び サブテーマ	所属 及び 発表者
I	① 図形の見方を豊かにする指導法の研究 ～面積公式を手立てとした図形の仲間分け～	金剛沢小 玉手英敬
	② 日常の感覚から解決する手立てを考える力を育む指導の工夫	向陽台小 工藤 優
II	① 児童の学び合いを生む算数科指導の一試行	東長町小 石崎 純
	② 児童が見通しを持って問題解決に取り組む理科の学習指導の一試み ～問題を把握する場面と仮説を設定する場面の工夫を通して～	富沢小 鈴木茂男
III	① 松陵中の OJT 推進の取組 ～Off JT を生かした OJT の推進を通して～	松陵中 行仕美幸
	② 松陵中の協働型学校評価の実践 ～「写真の力」を生かした取組を通して～	松陵中 平井 敦
IV	① フレナビ鶴巻における OJT の取組 ～若手教員間での授業づくり, 学校課題解決に向けて～	フレナビ鶴巻 手塚 薫 宮内大輔
	② YPLAN (Youth, Plan, Act, Now) に学ぶシチズンシップの視点 ～カリフォルニア大学バークレー校における被災地高校生への, まちづくりワークショップの実際と教育課程への転化の一考察～	仙台大志高 大沼洋子

第11分科会 (東二/光の広場)

児童生徒

発表順	研究主題 及び サブテーマ	所属 及び 発表者
I	① ご当地ヒーローから学ぶみやぎのきょう土あい	木町通小 遠田乃愛 (2学年) 遠田節子 (保護者)
	② 「潜水ていを作る～進め!! たいが0030Ⅲ 完結編」	八幡小 小野泰雅 (6学年)
	③ 絶滅危惧種のトンボ ～宮城県レッドリストのトンボを探して～	芦口小 渡邊泰史 (5学年)
II	① 「セミのぬけがら」でぼくの町の環境を調べてみよう	高森東小 伊藤総彦 (5学年)
	② 世界の植物と生き物のつながり, ぜつめつのおそれがある植物	中山小 亀川郁花 工藤野々花 (5学年)
	③ 食品の臭いが他の生物に与える影響の研究 ～「タマネギのしげき」からの発展～	吉成中 遠藤詩絵音 (2学年)
	④ いろは歌の特徴とその歴史	広瀬中 勝山 康 (1学年) 勝山 稔 (保護者)

第12分科会 (東二/図書室)

児童生徒

発表順	研究主題 及び サブテーマ	所属 及び 発表者
I	① 支え合うくらし ～人と関わり, 地域を知ろう～	北六番丁小5学年 佐藤柊也 成谷 琉 竹田斗和 山室姫愛 鈴木心菜 二郷 奏 渡邊聡仁 中嶋ひな
	② 私たちがつくる未来のまち	北六番丁小6学年 稲垣 翼 日野秋音 近江 周 村上 遥 清水菜央 三上愛花
	③ 知らせよう 住吉台の宝「オオムラサキ」	住吉台小3学年 大島桃佳 山内くるみ 千葉咲花 桑原萌南 原明日香
II	① エフエムたいはく「キッズステーション」坪沼支局の発信	坪沼小 全校児童8名
	② 仙台市の姉妹・友好都市について	上杉山通小4学年 金井莉子 相澤紗来
	③ よしボラ活動	吉成中2学年 小森香乃 小野寺優太